

平成 19 年度障害者自立支援調査研究プロジェクト 事業実施報告概要

事業名	障害者自立のためのストップモーションアニメ CM 制作事業
事業目的	<p>平成 18 年 4 月に障害者自立支援法が施行され、社会参加を希望する障害者が増えた反面、地方における就労の機会や形態には既存の内容では限界がある。当法人が運営を行っている障害福祉サービス事業所 you 愛が就労継続支援サービスの一環として、ストップモーションアニメーション技術を使った地元企業の CM として制作し、障害者の新たな就労手段として教育およびビジネス展開するための事業を実施した。CM 素材には地元の地域資源（観光名所、特産品、史跡等）を活用し、現在以下の Web サイトで出来上がった CM を配信中です。 【Web サイト URL : <a href="http://stopmotion.heteml.jp/">http://stopmotion.heteml.jp/</a>】</p>
事業概要	<p>[ 1 ] <u>特別講習会の開催</u> 平成19年10月30日 13:30～15:00 テクノアーク島根4F小会議室にて開催。参加者：24名（うち障害者20名） 【講師】：早稲田大学教授 坂井 滋和先生 【題目】「ストップモーションアニメの世界」</p> <p>[ 2 ] <u>ストップモーションアニメ制作講座のための教材作成</u> 制作講座で使用するテキストおよびサンプルムービーを作成。</p> <p>[ 3 ] <u>ストップモーションアニメ制作技術を学ぶ制作講座の実施</u> 平成19年11月5日、6日、12日、13日の4日間開催 時間：13:30～16:30 場所：小規模授産施設ピー・ター・パン 参加者：1回あたり8～10名 【1日目】映像のしくみ、ストーリー作り他 【2日目】クレイモデル、背景の制作 【3日目】ストップモーション撮影 【4日目】撮影の続き、編集のための選曲作業</p> <p>[ 4 ] <u>プロトタイプCM制作</u> プロトタイプCM2本を制作。 (1) 『分婁見守りシステム・でかした！花子～！編』 【制作期間】：平成19年12月～平成20年3月 制作に障害者の方6名が参加。映像に出てくるロゴ及びマークのデザイン作成。背景に使用する樹木、植木、ゴミ箱等を制作。 (2) 『ふるさと応援CM 島根・松江編』 【制作期間】：平成19年12月～平成20年3月 制作に障害者の方2名が参加。映像に登場する「雲の動き」「牡丹の花の開花」の撮影のアシスタントを行った。</p> <p>[ 5 ] <u>ストップモーションアニメCMのWeb配信環境の整備</u> 【制作期間】：平成19年12月～平成20年1月 制作したCMを配信するためのWebサイト構築。CMS（コンテンツマネジメントシステム）を導入しホームページ作成ソフトなどを使用せずブラウザソフトで簡単にコンテンツ登録できる仕</p>

	<p>組みを作り、作業に障害者も参加できるように整備した。  【Webサイト：<a href="http://stopmotion.heteml.jp">http://stopmotion.heteml.jp</a>】</p>
<p>事業実施結果 及び効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>障害者の新たな就労の場を創出するモデルの確立</u>  ストップモーションアニメCM制作に障害者が参加できる仕組みを固めることができた。今回制作したCM映像を営業ツールとして次年度以降ストップモーションアニメCM制作を民間企業や自治体からの制作受注を目指す準備が整った。</li> <li>● <u>講座教材のパッケージ化について</u>  本事業で使用する教材を講座用テキストやサブフィルムなども作成した。教材パッケージ化および販売による障害者の工賃拡大の効果を目指したが、障害者の障害種別や知識、経験により教材の内容を考慮する必要があることがわかった。パッケージ化のためには、さらに改訂を行い有効な教材を検討が必要であった。</li> <li>● <u>地域資源を活用したストップモーション映像活用の可能性</u>  今回、CMは地元の民間企業のもので地元の観光名所や特産品「牡丹の花」を活用した「ふるさと応援」CMを制作した。地元の特産や自然環境といった地域資源を取り上げたストップモーション映像は今後も幅広く活用できる素材であることがわかった。既存の制作会社では時間がかかって取り組めないストップモーション映像をアイデアと企画次第で障害者が関わることができる有効な撮影方法として今後も取り組むことが可能である。</li> <li>● <u>CMSによるWebサイト構築のメリットおよびネット配信の有効性</u>  CMS(コンテンツマネジメントシステム)をベースとしたWebサイトを構築、それにより情報発信自体の作業に障害者が参加することが可能になった。また、現在新たなメディア展開として注目されている動画のインターネット配信という手法を継続的に行うことが可能となり、継続的に映像配信する環境が整備できた。  また、</li> <li>● <u>障害者の就労支援に対する協力体制の広がり</u>  本事業を通じて、実施主体である当事業所以外の福祉施設や民間企業、個人クリエイターと連携して映像制作を行った結果、就労支援の社会的な広がり、協力体制の枠組みが期待できた。</li> </ul>
<p>事業主体</p>	<p>社会福祉法人まつえ友愛会</p>